



東京都環境局 平成28年度 テナント省エネセミナー



ダイキン工業(株) オフィスにおける環境活動の推進



平成28年7月25日
ダイキン工業株式会社
東京支社 田口 宗之



発表内容



1. 会社紹介
2. 東京支社の紹介
3. 節電の取組事例
4. グリーンハートオフィス(略称GHO)の取組
5. まとめ



1. 会社紹介 ～会社概要～

(2016年5月10日現在)

会社名	ダイキン工業株式会社 ※1963年 大阪金属工業株式会社から社名変更
創業	1924(大正13)年10月25日
設立	1934(昭和9)年2月11日
資本金	850億円
従業員数	60,805名 (単独6,870名)
会長・社長	会長:井上礼之、社長兼CEO:十河政則
本社・支社	大阪・東京
国内製作所	堺製作所(業務用空調製品)、淀川製作所(フッ素化学製品、油圧機器、防衛)、滋賀製作所(家庭用空調製品)、鹿島製作所(フッ素化学製品)
グループ会社数	連結子会社213社(国内28社、海外185社)
特長	<p>✓「空調」と「フッ素化学」の技術を両輪に、空調機器と冷媒の両方を手がけている空調総合メーカー</p> <p>✓快適性と環境性の両立を追求し、技術で社会と環境に貢献</p>

1. 会社紹介 ～事業別売上高構成～

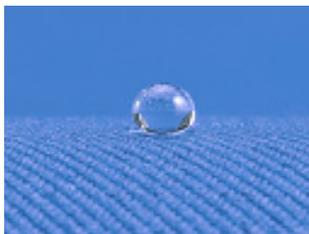
化学事業



半導体用途

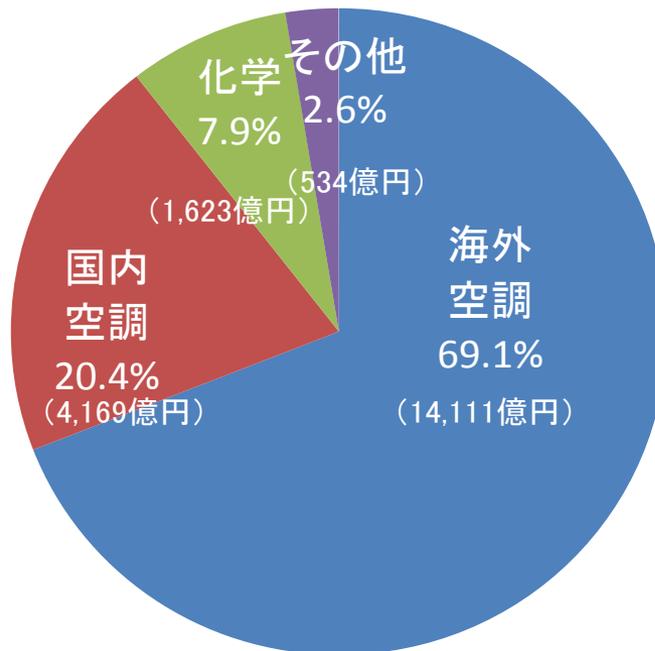


自動車用途



撥水撥油剤

売上高 (2016/3月期)
20,437億円



空調事業



その他事業



油圧機器



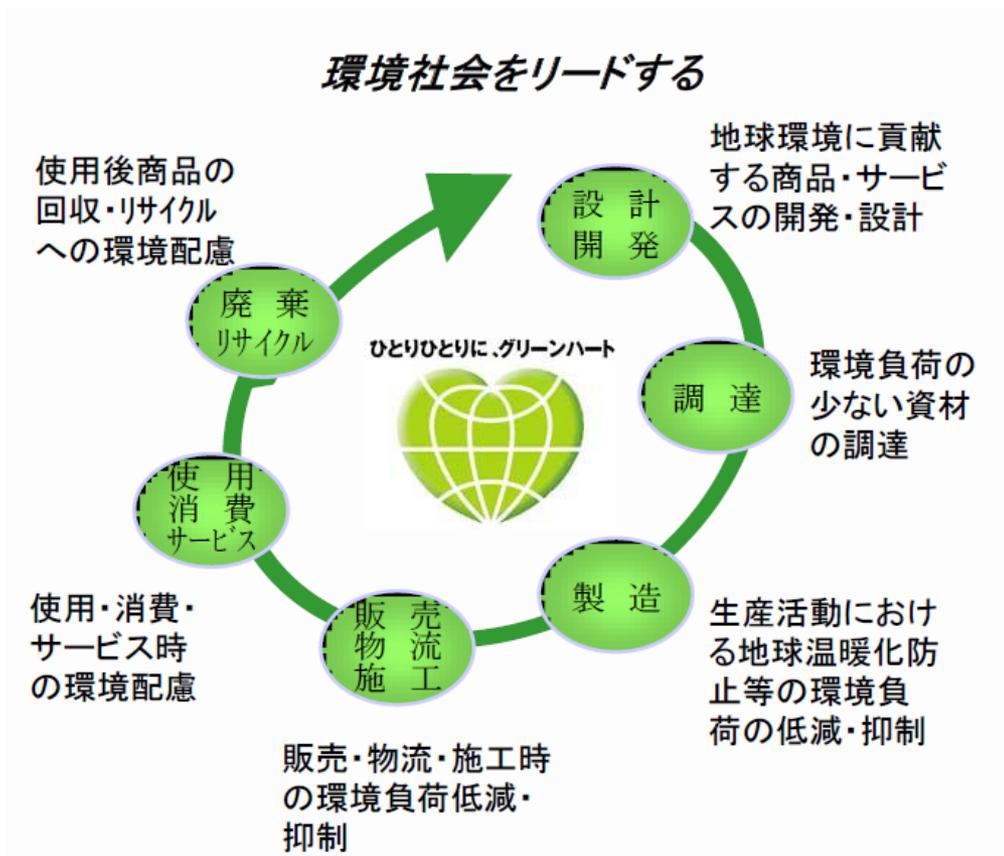
呼吸調整器 ライトテックDS13
酸素濃縮装置 ライトテック-3X

酸素濃縮機

1. 会社紹介 ～環境方針～

ダイキングループは、グループ経営理念「環境社会をリードする」に則り、従業員一人ひとりが、地球を思い、環境を大切にするグリーンハートの心を持ち、環境貢献と事業拡大を両立する環境経営を実践します。

(ダイキン国内グループ環境方針より抜粋)



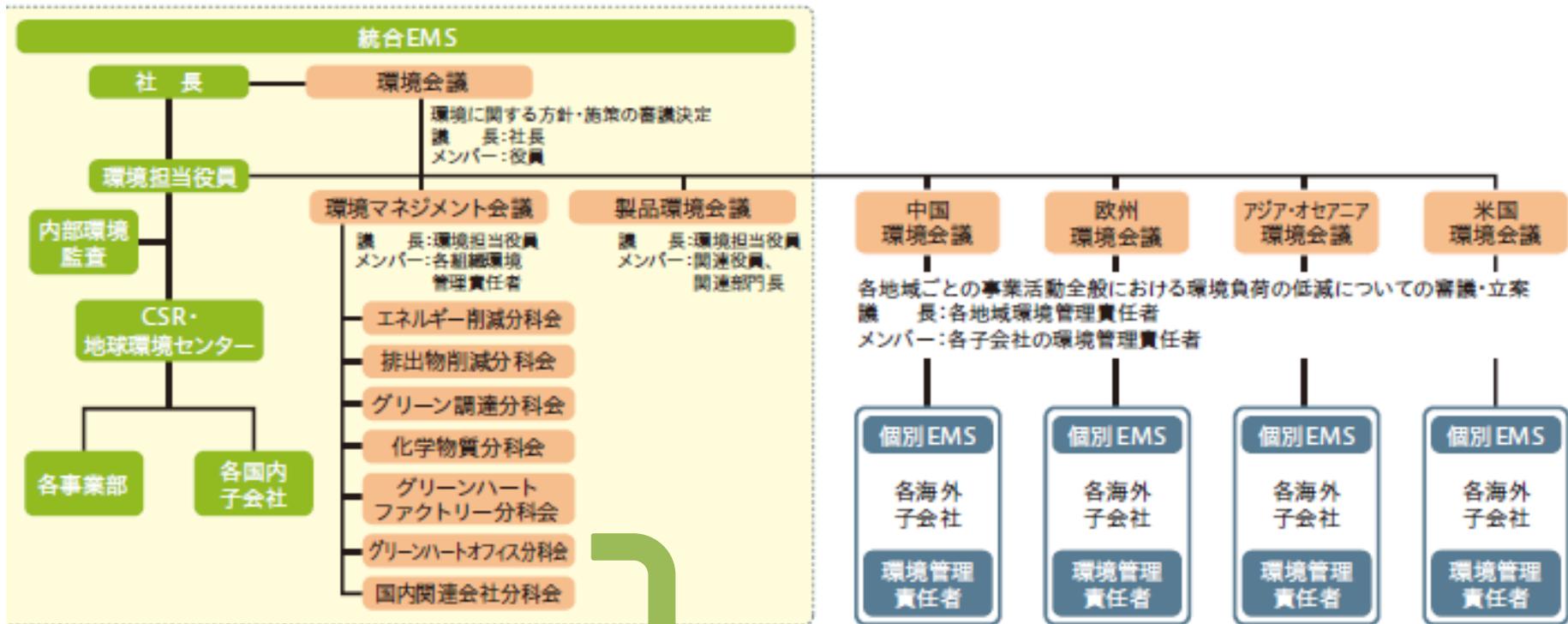
ひとりひとりに、グリーンハート



ダイキングループの環境シンボルマーク:

従業員一人ひとりが地球を思いやり、環境を大切にする心を持って行動するという決意を表したものです。

1. 会社紹介 ～全社環境推進体制～



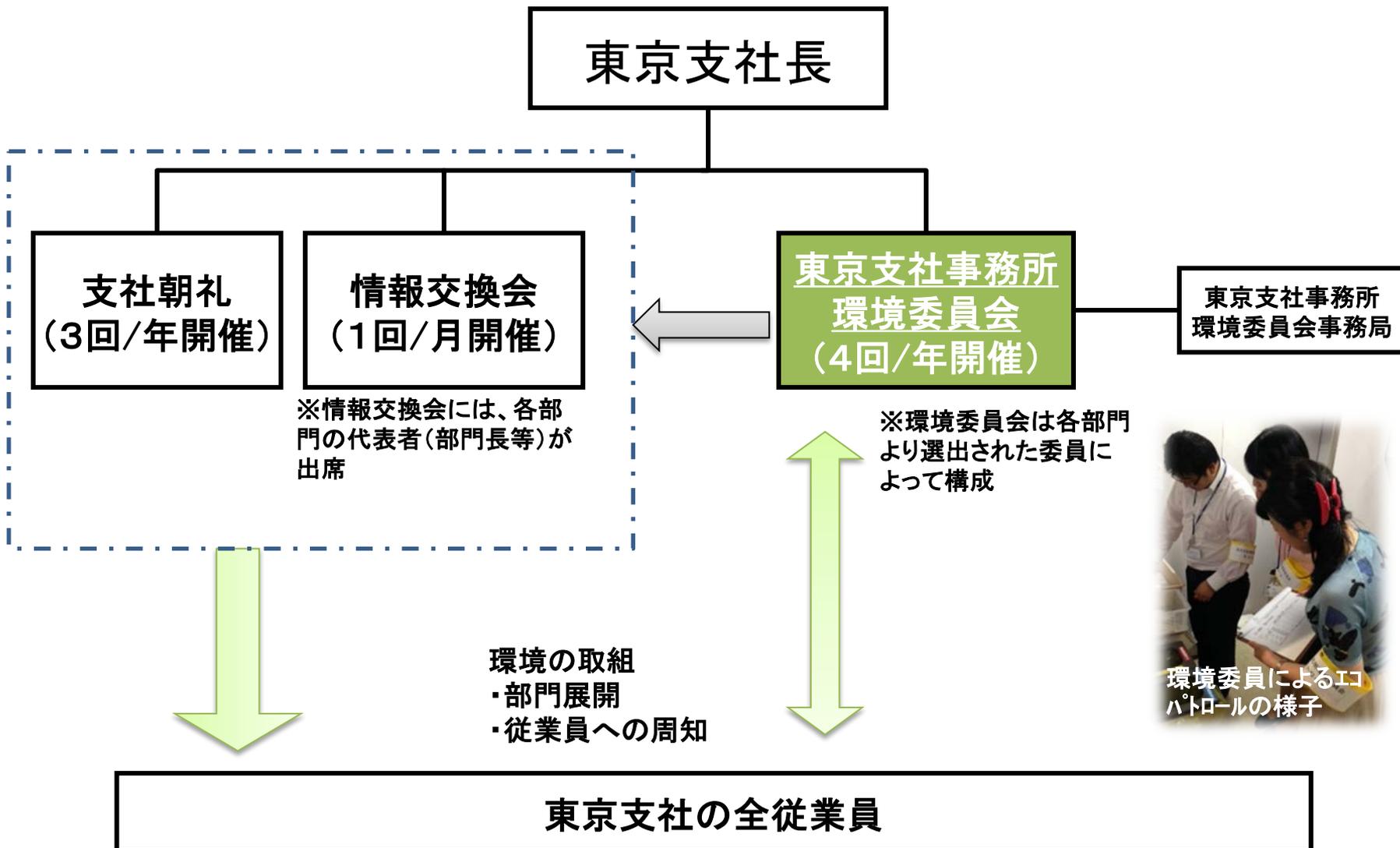
オフィスの環境活動は、グリーンハートオフィス分科会が推進

2. 東京支社の紹介 ～拠点情報～



拠点情報	
住 所	港区港南2-1-18 JR品川イーストビル
テナントビル	竣工2004年2月 地上20階、地下3階
入居フロア	10階～12階
延床面積	5,266㎡
従業員	約400人
存在する部門	空調営業本部 化学事業部 電子システム事業部 低温事業本部 特機事業部 ダイキン福祉サービス(株) コーポレート部門

2. 東京支社の紹介 ～環境活動推進体制～



3. 節電の取組事例 ～照明～

◆執務室内の蛍光灯の間引き



◆照明のスイッチ 点灯エリアのマッピング



◆照明の自動消灯 タイムスケジュール

時間	ねらい
3:00	深夜帯の消し忘れ防止
12:05	昼休みの消灯
18:30	水曜の定時退社日(帰宅を促す)
20:00	残業による消し忘れ防止 (1時間おきに設定し、帰宅を促す)
21:00	
22:00	

自動消灯後は、必要な箇所のみ手元スイッチで点灯



残業中の一斉消灯は、一瞬真っ暗になる。危険防止のため、個人の引き出しワゴンに“蛍光シール”を貼っている

3. 節電の取組事例 ～空調～

◆机上に温湿度計を設置



◆扇風機の併用(夏季)



◆空調 自動停止 タイムスケジュール

平日	休日	ねらい
00:00	00:00	休日出勤の消し忘れ防止 (日中は2時間に設定)
01:00		
02:00		
03:00		
04:00		
06:00	06:00	
	10:00	残業による消し忘れ防止 (1時間おきに設定)
	12:00	
	14:00	
	16:00	
19:00	18:00	
20:00	19:00	
21:00	20:00	
22:00	21:00	
23:00	22:00	
	23:00	

自動停止後は、必要な箇所のみ手元スイッチで運転

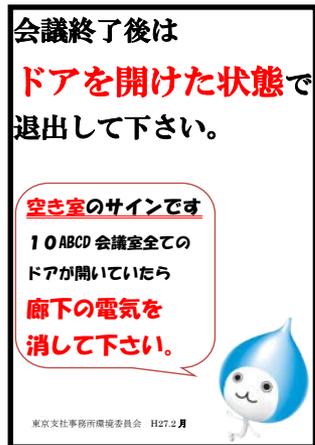


3. 節電の取組事例 ～啓発活動～

◆会議室の消し忘れ防止の取組

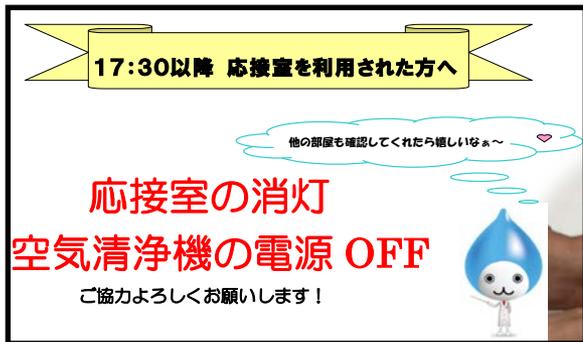


中に人がいなくても、扉が閉まっていると会議中と
思ってしまう



会議室の扉に貼った
“扉の開放”を呼びかけるポスター

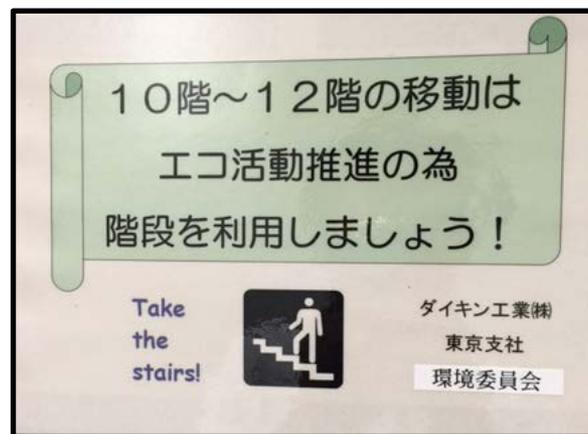
◆応接室の消し忘れ防止の取組



定時後利用の社員に手渡すカード

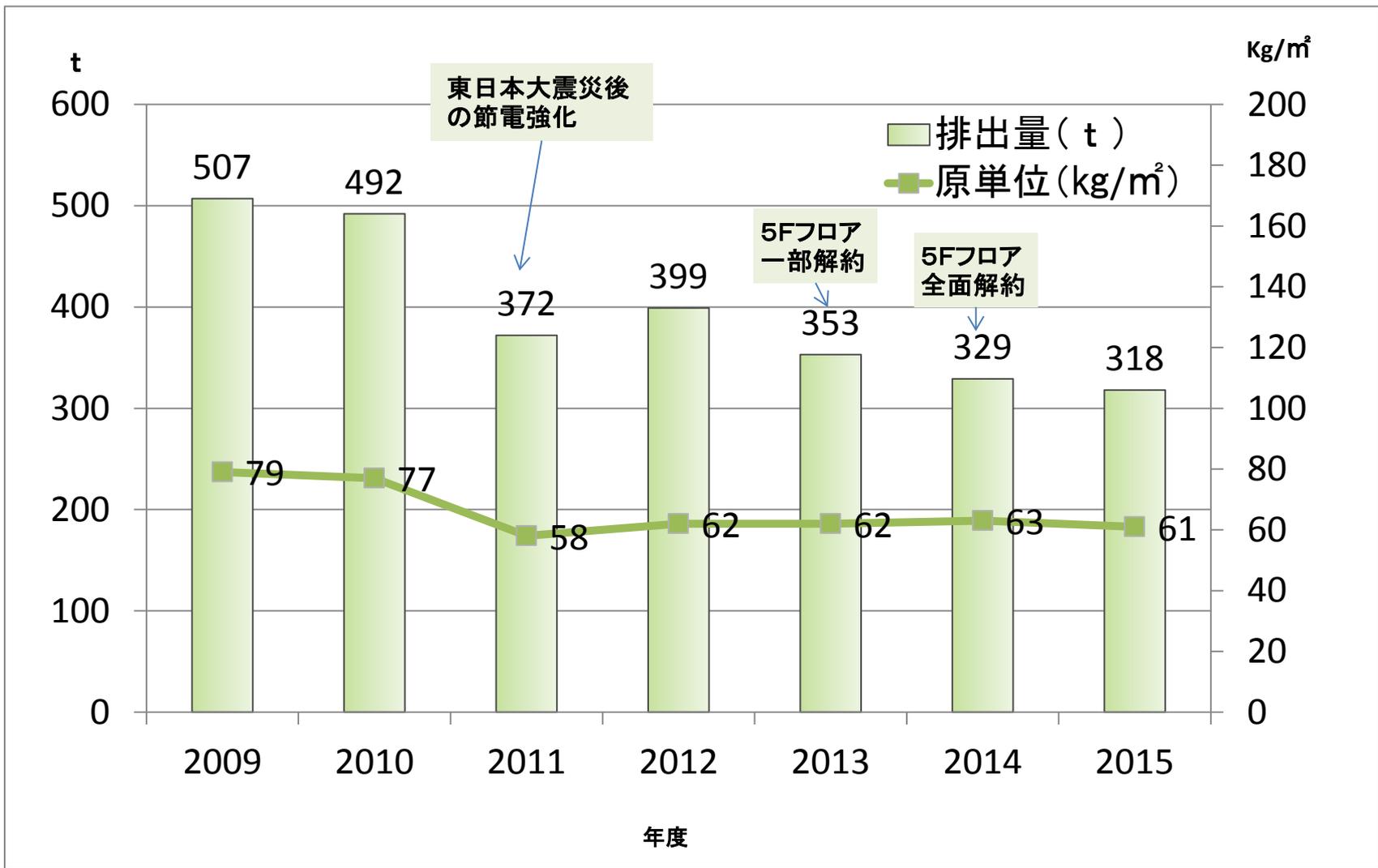


◆階段利用促進の取組



非常階段の扉に貼っているポスター

3. 節電の取組事例 ～東京支社の特定温室効果ガス排出量の推移



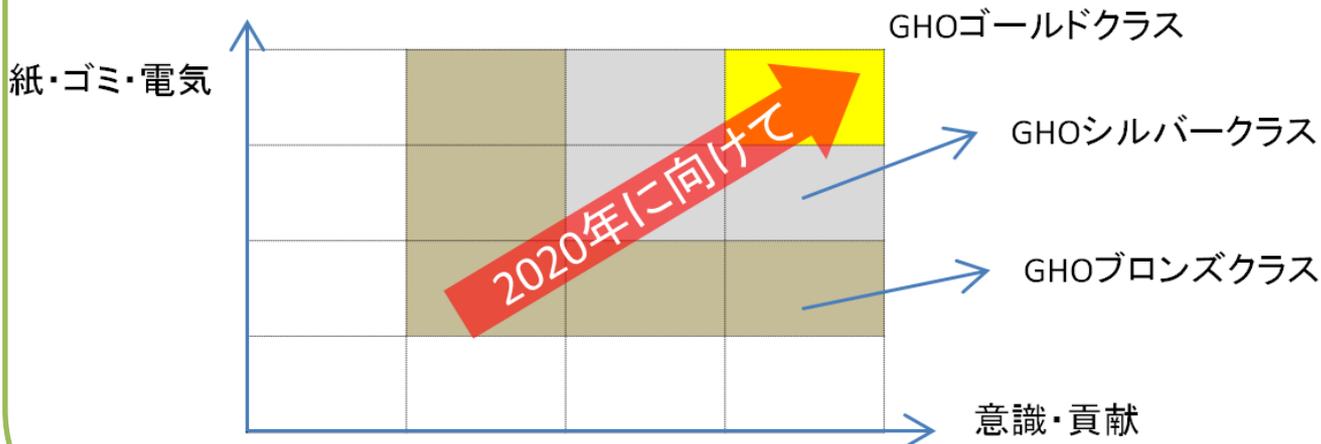
4. GHOの取組 ～活動の狙い～

GHO活動の狙い

- 従来の「紙・ゴミ・電気」の削減取組に加え、**環境意識の向上強化**をめざす。
- 全社として取り組むべき共通項目をピックアップし評価することで、ランク付けを行い、**各拠点の活動の比較を可能**にする。

活動評価表の考案

「紙・ゴミ・電気」使用量削減の取組に対する評価点を縦軸、「環境意識・社会貢献」の取組に対する評価点を横軸にしたマトリクスでゾーン毎に「ゴールドクラス」「シルバークラス」「ブロンズクラス」「その他」の4つにランクを定め、各拠点の活動のレベルを分かりやすくビジュアルで確認できるようにすることで、更なるレベルアップを目指す。



ゴールドクラス達成の職場には、認定書が与えられる

4. GHOの取組 ～活動評価表～

あなたの部署の目標は、B97.2 **GHOシルバークラス** です

◆取組結果◆



あなたの部署は、



です

●拠点：東京支社	(人数)	27名
●部署：コーポレート部門		

①拠点・人数・部署を入力して下さい。
 ②各シートに入力下さい。(全てのシートに入力すると、本シートに結果が自動表示されます。)

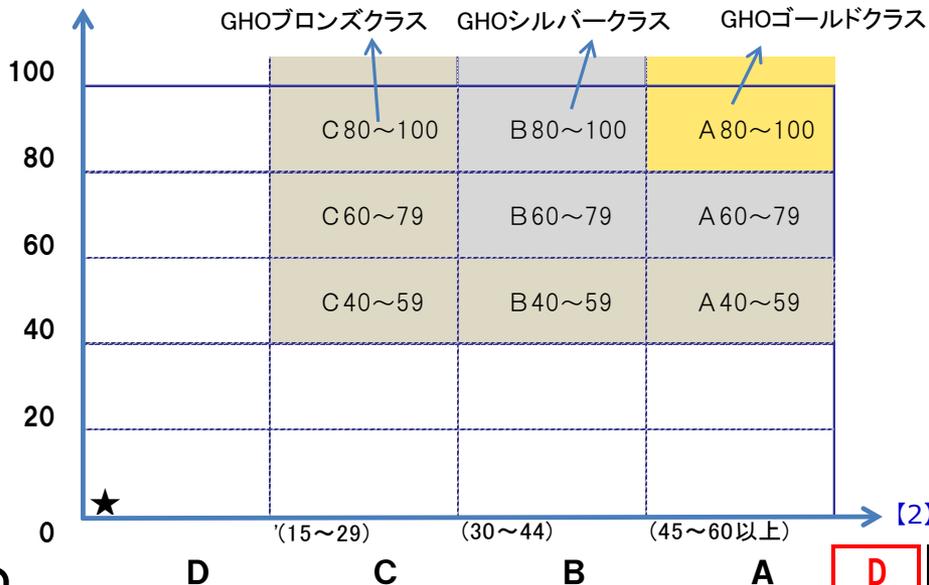
目標 実績

97.2

0

↓現在の位置に★が自動表示されます。

【1】3R・省エネ



【2】意識・貢献

D **B**
 実績 目標

●個別実施項目評価 (↓自動計算)

項目	満点	目標	実績
【1】3R・省エネ			
1 省資源(紙)	40	37.2	0
2 省廃棄(ゴミ)	25	30	0
3 省エネ(電気)	30	30	0
合計	95	97.2	0
【2】意識・貢献			
1 教育・啓発	40	25	0
2 社会とのかかわり	20	15	0
合計	60	40	0

[補足]
 満点基準には加算得点が含まれておりません。
 加算があった場合は、満点基準を超える可能性があります。

1. 省資源(紙)

37.2 0点(=自動計算)

1) 省資源(紙対策)の実施

25点満点(10問)

実施項目	目標	取組結果
①複合機の機能を周知している	○	
②個人別または部署・グループ別の使用枚数を把握し、部内に周知している	○	
③個人別または部署・グループ別の用紙削減率を把握し、部内に周知している	○	
④FAX出力枚数の削減に取り組んでいる	○	
⑤会議時パソコン・プロジェクトを活用し、会議参加者への配付資料を削減している	○	
⑥部内への案内物(年報資料、福祉販売チラシ等)はイントラディスプレイや電子メールで配付している	○	

2. 省廃棄(ゴミ)

30 0点(=自動計算)

1) 省資源(分別・リサイクル)の実施

20点満点(8問)

実施項目	目標	取組結果
①ゴミの分別方法を掲示している	○	
②ビン・缶・ペットボトルの分別を実施している(回収業者による分別含む)	○	
③OA用紙	○	

3. 省エネルギー(電気)

30 0点(=自動計算)

1) 省資源(電気)の実施

25点満点(10問)

実施項目	目標	取組結果
①省エネ意識を向上させるため職場独自の工夫をしている	○	
②担当者を決めて、昼休み等使用しない時間帯の消灯を実施している	○	
③最終退社時のチェック表や設備上の自動機能を利用し、消し忘れを防止している	○	
④照明の間引きやLED使用など設備面で省エネを推進している	○	
⑤個別スイッチまたは照明区画を表示し、不在者エリア	○	
⑥部門全員のパソコンが省エネモードに設定されている	○	
⑦OA機器(印刷機、FAX等)の省電力モードを設定している	○	
⑧長期休暇(盆休み、年末年始)時は使用しない機器	○	
⑨TV会議、電話会議の利用を推奨している	○	
⑩空調の目標設定温度が決められ、管理されている	○	

[2]意識・貢献

1. 教育・啓発

25 0点(=自動計算)

1) 従業員の環境教育・意識啓発

40点満点(8問)

実施項目	目標	取組結果
①eラーニング受講率が95%以上	○	
②eラーニング受講後に部門内で振り返りを実施	x	

[2]意識・貢献

2. 社会との関わり

15 0点(=自動計算)

2) [加算] その他の取り組み

貴部門の独自の取組み、部門全員でPDCAが回

(例) 3フロア以下の移動の場合はエレベーター

実施

※加算項目については、GHO分科会にて審議します

3) 電力使用実績

以下のリストから1つだけ選択下さい。

一人あたりの電力使用量2010年度比(2010年度と

1) 従業員・部門と社会との関わり

20点満点(4問)

実施項目	目標	取組結果
①オフィスや部門主催の地域清掃、緑化活動に部門で一人以上参加した	○	
②CSR・地球環境センター主催のボランティア活動の参加募集について紹介している(知床ボランティア、環境ボランティアDO!等)	○	
③労働組合主催ボランティア活動の参加募集について紹介している(労組のもり等)	○	
④小学校出張講師に一人以上登録している	x	

15 0点(=自動計算)

2) [加算] その他の取り組み

貴部門の独自の取組み、部門全員でPDCAが回している取組みなどがあれば、内容欄に入力下さい。

(例) 家庭でもエコな取組みを実施するよう定期的に呼びかけている

5点満点

実施内容	目標	取組結果

※加算項目については、GHO分科会にて審議します

0 0点(=自動計算)

1頁マトリクス表の縦軸の加点となる取組項目

1頁マトリクス表の横軸の加点となる取組項目

環境委員が自部門の取組状況を評価し、入力する。

[1]3R・省エネ

3. 省エネルギー(電気) 30 0点(←自動計算)

1) 省資源(電気)の実施 25点満点(10問)

実施項目	目標	取組結果
①省エネ意識を向上させるため職場独自の工夫をしている	○	
②担当を決めて、昼休み等使用しない時間帯の消灯を実施している	○	
③最終退社時のチェック表や設備上の自動機能を利用し、消し忘れを防止している	○	
④照明の間引きやLED使用など設備面で省エネを推進している	○	
⑤個別スイッチまたは照明区画を表示し、不在者エリアの部分消灯を実施している	○	
⑥部門全員のパソコンが省エネモードに設定されている	○	
⑦OA機器(印刷機、FAX等)の省電力モードを設定している	○	
⑧長期休暇(盆休み、年末年始)時は使用しない機器のコンセントを全て抜いている	○	
⑨TV会議、電話会議の利用を推奨している	○	
⑩空調の目標設定温度が決められ、管理されている	○	

25 0点(←自動計算)

部門あたりや一人あたりの電気使用量の見える化・消し忘れ防止の呼びかけ等

設備の都合上、実施できない場合は“-”を選択

設備の都合上、実施できない場合は“-”を選択

機器の運用上、実施できない場合は“-”を選択

夏場は必ず「28度」「標準設定」にするなど、温度が勝手に離でもコントロールできないようになっている

該当しない取組みは“-”を選択できるようにし、点数がマイナスとならないようにしている

全社で定めた共通の取組み項目

2)【加算】その他の取り組み

貴部門の**独自の取組み**、**部門全員でPDCAが回せている取組み**などがあれば、内容欄に入力下さい。

(例) 3フロア以下の移動の場合はエレベーターの使用を原則禁止している

実施内容	目標	取組結果

5点満点
0 0点(←自動計算)

※加算項目については、GHO分科会にて審議します

3) 電力使用実績

以下のリストから1つだけ選択下さい。

実績	目標(必須)	取組結果
一人あたりの電力使用量2010年度比(2010年度と比較できない場合は前年比)	○(削減に取り組む)	

5 0点(←自動計算)

[2]意識・貢献

2. 社会との関わり 15 0点(←自動計算)

1) 従業員・部門と社会との関わり 20点満点(4問)

実施項目	目標	取組結果
①オフィスや部門主催の地域清掃、緑化活動に部門で一人以上参加した	○	
②CSR・地球環境センター主催のボランティア活動の参加募集について紹介している(知床ボランティア、環境ボランティアDOI等)	○	
③労働組合主催ボランティア活動の参加募集について紹介している(労組のもり等)	○	
④小学校出張講師に一人以上登録している	×	

15 0点(←自動計算)

部内会議などで応募をよびかけている

遠距離などで参加が困難な場合は“-”を選択

該当しない取組みは“-”を選択できるようにし、点数がマイナスとならないようにしている

全社で定めた共通の取組み項目

2)【加算】その他の取り組み

貴部門の**独自の取組み**、**部門全員でPDCAが回せている取組み**などがあれば、内容欄に入力下さい。

(例) 家庭でもエコな取組みを実施するよう定期的に呼びかけている

実施内容	目標	取組結果

5点満点
0 0点(←自動計算)

※加算項目については、GHO分科会にて審議します

4. GHOの取組 ～今後の課題～

- ◆ **評価の客観性の確保(現状:自己評価方式)**
- ◆ **評価に取組の浸透度(その取組を実行している人の割合等)をどこまで考慮するか?**
- ◆ **各組織・部門の競争原理を働かせるとともに、それぞれの取組をオープンにし、他の組織・部門の良い取組を取り入れる風土を根付かせる。
※【加算】その他の取組項目の情報共有**

5. まとめ

- ◆オフィスにおける環境活動は、いわゆる「紙・ゴミ・電気」の削減が中心。その取組はやり尽くした感もあり、活動のマンネリ化に陥り易い。これまでの取組を弛緩させることなく、当たり前前行動として定着させることが大切
⇒従業員一人ひとりの環境意識を高めることが重要
- ◆組織が一体感を持ちながら、楽しく活動できる工夫と仕掛けが不可欠
⇒GHO活動評価表は有効な手段

(GHO活動の効果事例)

ダイキン工業株東京支社では、港区とアドプトプログラムの協定を締結し、今年1月より清掃ボランティア活動を開始



東京支社清掃ボランティア(H27. 6. 29)



ダイキン工業(株)東京支社は目指します！

- GHO活動におけるゴールドクラス認定
拠点、社内で一番の取得
- 東京都特定テナント省エネ評価における
Sランクの取得





ご清聴ありがとうございました！



ぴちんくん